

平成21年度 総務省

「インターネットの特性を踏まえた情報の受発信・
情報交換についての指導内容等に関する調査研究」

指導資料

平成22年3月

1. 運営マニュアル

1-1	はじめに	2
1-2	授業・セミナーのフロー	3
1-3	事前準備	3
1-4	授業・セミナーの実施	4
1-5	指導後のフォロー	4

2. 指導マニュアル

2-1	テーマ：「主体的なコミュニケーション」	5
2-2	対象	5
2-3	ビデオクリップ（あらすじ）	5
2-4	授業・セミナーの学習目標	5
2-5	指導のポイント	6
2-6	指導の展開例（1コマ50分版）	7
2-7	サンプルシナリオ（1コマ50分版）	9
2-8	補助教材	18

3. 参考資料

3-1	ブログ炎上の場合の対応	29
3-2	自他を尊重するコミュニケーション手法（アサーション）	30

4. 指導マニュアル(オプション)

4-1	指導の展開例（1コマ版）	31
4-2	指導の展開例（短時間版）	36
4-3	指導の展開例（2コマ版）	38

1. 運営マニュアル

1-1 はじめに

子どもたちがインターネットや携帯電話等の ICT メディアを日常的に利用するようになり、生活における ICT メディアの位置づけが大きくなってきました。それと同時に、さまざまなトラブルに巻き込まれたり、自分は悪気がないのにトラブルの加害者になったりすることが出てくるようになりました。

例えば、ブログなどにおいて、読んでいる人の気持ちを考えない発言をしたことで炎上するケース、嫌なことを言われた際に何も言わずに我慢し、耐えきれなくなったときにトラブルを起こしてしまうケース等です。

このような問題の解決策の一つとして、ICT メディアの利用を制限してトラブルを回避するのではなく、子どものコミュニケーション能力そのものの向上を支援し、ICT メディアを有効活用できるようになることを目指し、「主体的なコミュニケーション（自他尊重のコミュニケーション）」を選定しました。

本書は、「主体的なコミュニケーション（自他尊重のコミュニケーション）」に関して、学校の授業や家庭、地域で開催されるセミナー等において指導者が利用する資料です。「運営マニュアル」、「指導マニュアル」、「参考資料」、「指導マニュアル（オプション）」の4部で構成されています。

「運営マニュアル」は、授業・セミナー等の事前準備→実施→実施後のフォローというフェーズに分け、指導者及び保護者がフェーズごとに何をしなければならないかをまとめたものです。

「指導マニュアル」は、学習目標、ビデオクリップのあらすじ、指導上のポイント、指導の展開例（指導案）、サンプルシナリオなどの内容で構成されています。サンプルシナリオには、セクションごとの所要時間の目安、ワークシートなどの資料の配布のタイミング、スライドを切り替えるタイミング、スライドのアニメーションを切り替えるタイミングなどを記してあります。

「参考資料」は、ブログ炎上の場合の対応策、アサーション*1の参考資料をまとめています。ご一読いただければ幸いです。

「指導マニュアル（オプション）」は、指導マニュアルで例示した指導の流れのほかに、ビデオクリップを最後に見せる場合の指導の流れや、2コマ版、短時間版などの指導の流れを紹介しています。学習者の実態、授業・セミナーの構成に合わせて選択してください。

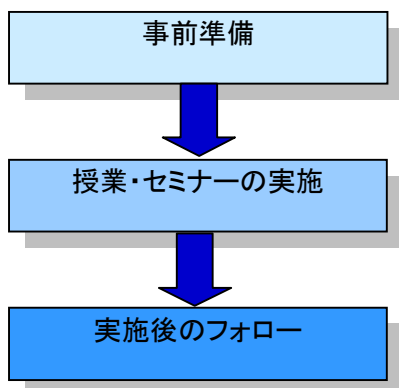
この指導資料は、コミュニケーションやインターネット・携帯電話などの知識やスキルが十分とはいえない指導者や保護者でも、ビデオクリップやワークシートなどの補助資料を使いながら、一定レベルの指導ができるように工夫されています。中学校や高校の授業だけでなく、地域で開催されるセミナー、家庭での指導の際、ご活用いただきたいと思います。

指導資料を使って、「主体的なコミュニケーション（自他尊重のコミュニケーション）」に関する授業・セミナー等を円滑に実施できるようになることを願っております。

*1 「アサーション」とは、自分の考え、欲求、意見、気持ちなどを率直に、正直に、その場の状況に合った適切な方法で伝えようとする自己表現であり、自分と相手の相互を尊重しようという精神で行うコミュニケーションです。詳しくは、本紙 30 ページをご覧ください。

1-2 授業・セミナーのフロー

授業・セミナーのフローは下記の通りです。



フローに沿って、説明します。

1-3 事前準備

(1) 授業・セミナーの準備

- ・ 2-6 指導の展開例を参照し、指導の流れを確認します。
- ・ 時間的な余裕があれば、参考資料を読んでおくとい良いでしょう。

(2) 補助資料(ワークシートなど)の準備

下記の資料を総務省のホームページからダウンロードします。

- ・ 掛図
- ・ ワークシート
- ・ ビデオクリップ
- ・ スライド

*ワークシートは、学習者の人数分コピーします。

(3) 機器類の準備

- ① コンピュータ、スクリーン、プロジェクター、スピーカー、DVD プレイヤーを用意します。
- ② コンピュータにビデオ再生ソフト (Windows Media Player など)、PowerPoint がインストールされていることを確認します。

(4) 機器類の設営と事前確認

- ① スクリーンを設置します。
- ② コンピュータを立ち上げます。
- ③ プロジェクターを立ち上げます。
- ④ コンピュータとプロジェクターを接続します。
- ⑤ スピーカーをコンピュータに接続します。
- ⑥ プロジェクターに投影されるかどうか確認します。
操作方法は、コンピュータの機種によって異なります。
- ⑦ ビデオクリップを立ち上げ、動作を確認します。
音声スピーカーから出るかどうかを確認します。
- ⑧ PowerPointのスライドが動作するかどうかを確認します。

(5) 教室環境の設営

- ① 話し合い（グループディスカッション）を行うため、5人～6人 1グループになるように、島に分け、机、椅子を並べておくといいでしょう。
- ② ビデオクリップがスクリーンに投影され、きちんと見えるかどうかを確認します。明るければ、カーテンまたは暗幕を引きます。カーテンが備えつけられていない場合、暗くなるように事前に用意してください。

1-4 授業・セミナーの実施

次ページ以降の「指導マニュアル」に沿って、授業・セミナーを進めてください。

1-5 指導後のフォロー

- ・ 中学校、高校の授業や家庭で実施する場合、指導後なるべく早いうちに、アクションプランワークシート（ワークシート3）を配布します。
- ・ 生徒や子どもがアクションプランに記入することで、今までの自分自身の行動を見直し、行動を変えるきっかけとなり、主体的なコミュニケーションを身につけることが期待できます。
- ・ 生徒や子どもがアクションプランに記入した事柄について、行動が変容したかどうかを確認しましょう。

2. 指導マニュアル

2-1 テーマ：「主体的なコミュニケーション」

子どもたちがインターネットや携帯電話などの ICT メディアを利用するようになるにつれ、さまざまな事件やトラブルが発生するようになりました。トラブルの原因として、子どもたちがコミュニケーション・スキルを身につけないままにインターネットや携帯電話などを使い始めたことがあげられます。とくに携帯電話を使い始める中学 1～2 年生が、コミュニケーション・トラブルを経験することが多いといわれています。

そうした背景を踏まえ、ICT メディアリテラシー学習項目における下記の能力を育成することを目的とします。

- ・主体的にコミュニケーションする能力
- ・コミュニケーションする相手を尊重する能力

2-2 対象

学校や家庭で実施する場合、中学生・高校生を対象とします。

2-3 ビデオクリップ（あらすじ）

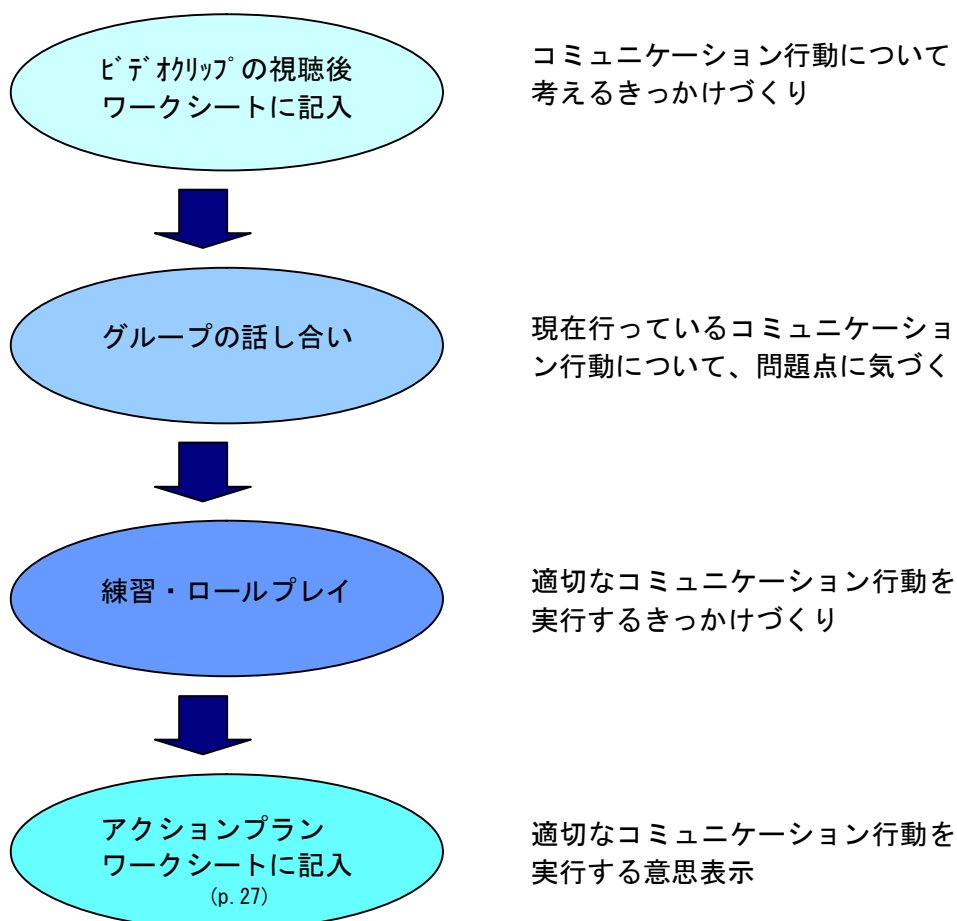
村井甲斐は、中学 1 年生ながら剣道部のエース。練習に励み、着実に力をつけ、レギュラーになりました。ブログを立ち上げ、剣道の練習のことや日々の思いを書いています。練習試合で、ライバル校のエース榎本直樹に勝ち、うれしさのあまりブログに、つい軽い気持ちで「結構、楽勝…」と書いてしまいました。すると 50 件を超える批判的な書込みがあり、甲斐は落ち込みます。書込みはだんだんエスカレートし、甲斐は練習する気をなくしてしまいました。ある日、甲斐を励ます書込みが寄せられました。それは、直樹からのものでした。

2-4 授業・セミナーの学習目標

- インターネットの特性を踏まえ、自他を尊重したコミュニケーションのしかたを学びます。
- （・相手の気持ちを考えて発言することを学びます。）
 - （・誹謗中傷などに同調しないで、勇気を持って自分の気持ちを伝えることを学びます。）
 - （・相手を思いやり、自分の気持ちを伝えるコツを学びます。）

2-5 指導のポイント

- この授業・セミナーでは、今までの自分のコミュニケーションのしかたや考え方に気づき、見直し、行動を変えていくことを目的としています。知識を一方的に伝えるのではなく、学びあいを促すようにしましょう。
- ビデオクリップを視聴した後、グループの話し合い（グループディスカッション）を行います。グループの話し合いを通じて、現在行っているコミュニケーション行動の問題点に気づくように促しましょう。
- グループの話し合いでは、グループごとに班長が進行しますが、指導者はグループを回り、各人が発言しているかどうかを確認しましょう。
- コミュニケーションの練習（ロールプレイ）では、相手を思いやるコミュニケーションのしかたを実習することにより、適切なコミュニケーション行動を実行するきっかけになるように指導しましょう。適切なコミュニケーション行動ができるようになれば、問題解決のきっかけになります。



2-6 指導の展開例（1コマ50分版）

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
挨拶	1分	○本時の目標を確認する 自分も他人も尊重するコミュニケーションについて学ぼう	
導入	7分	○ビデオクリップを視聴する	視聴後、ブログに書き込みがあると携帯電話にメールが来る設定にしていることを伝える。
展開1	18分	○ビデオクリップについて話し合う ①ワークシートに記入する。 ②グループに分かれ、下記について話し合う。 ・甲斐くんの発言のしかたで注意しなければならなかったことは何か。 ・直樹くんが書いたコメントのいいところは何か。 ③グループごとに発表する。 ④まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・1班5～6人。班長を事前に決めておく。 ・登場人物の掛図を黒板に貼る。 ・ワークシート1を配布する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>展開1のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて発言する。 ・ブログへの誹謗中傷などに同調しないで、勇気を持って自分の気持ちを伝える。 </div>
展開2	18分	○自他を尊重するコミュニケーション手法を練習する。 ①コミュニケーションの3つのタイプ（攻撃的、がまん、自他を尊重）の特徴を知る。 ②スライド（ワークシート）の例題を見て、攻撃的な言い方から自他を尊重する言い方に言い換えることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2を配布する。 ・表面の3つのタイプをイメージしやすいように、指導者がメール内容を読む。 A.攻撃的なタイプは、攻撃的に読む。 B.がまんするタイプは、言いたいことが言えない雰囲気を読む。 C.自分の気持ちも相手の気持ちも尊重するタイプは、残念な様子が伝わるように、攻撃的にはならないように読む。 ・自分はどのタイプなのかイメージさせるとよい。 ・自他を尊重した話し方を実現するために、私を主語にして話すコミュニケーション手法で気持ちを伝えることを学ぶ。


流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
展開2 続き		③ワークシート2の「練習」を書く。 ④書いたものを発表する。 ⑤2人1組になり、コメントを読む。 ⑥感想を述べ合う。 ⑦まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・私を主語にして話すコミュニケーション手法になっているかを確認する。 ・スライドの解答例を示してもよい。 ・役割を交代させる。 ・グループ内の発表でもよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 展開2のまとめ 私を主語にして話すと、相手も尊重し、自分の気持ちも正確に伝えることができる。私を主語にして話すことは、思いやりの第一歩。 </div>
まとめ	6分	○本時のまとめ ①授業で学んだことをワークシートに記入する(5分)。 ②まとめを聞く(1分)。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時のまとめ 相手も自分も尊重するコミュニケーションを心がける。今まで相手を思いやるコミュニケーションを上手にできなかった人も、今日から行動を変えていってほしい。 </div>
オプション	3分	自他尊重に関する本など、クラスの状態に適した内容の本の朗読を聞く。	授業の後に朗読すると効果的である。
	7分	授業後、アクションプランを記入する。	自分の問題として考えてみたときに、「ネット・コミュニケーション、対面のコミュニケーションにおいて、相手を尊重したり、思いやったりする行動をとること」について宣言させることで、行動の変容を促す。

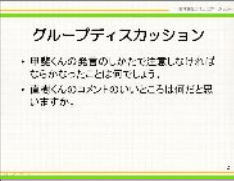


2-7 サンプルシナリオ (1 コマ 50 分版)

サンプルシナリオには、スライド、ビデオクリップの操作方法、指導者の方用に授業のシナリオが盛り込まれています。あくまでもサンプルシナリオなので、ご自身の言葉で、学習者にメッセージを伝えてください。


サンプルシナリオの見方

時間
()に時刻を記入すると進行の目安になります。

サンプルシナリオ
センテンスごとに「●」をつけてあります。スライドを表示するタイミングには、アイコンを表示しています。


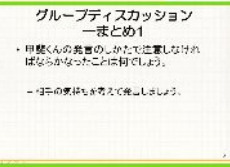
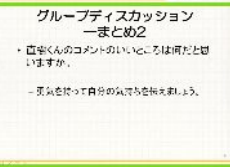



時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
10分 ()	スライド 02  [Enter]で「甲斐くんの発言…」をスライドイン	【話し合い】 ● いかがでしたか。  ● まずは、このワークシートの表側にある 2 つの質問に答え、映像を見て感じた自分なりの考えを記入してみてください。 ● 時間は 3 分間、ではスタート。	 事前にグループ分けしておき、机もグループごと島形式に配置する。班長を決めておく。 グループを回り、話し合いが進んでいないグループがないかどうか確認する。

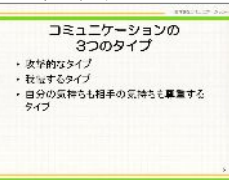



スライド、ビデオクリップの操作
表示するスライドのイメージや操作、ビデオクリップの操作を表示しています。







ポイント・配布物・掲示物
指導のポイントやワークシートの配布タイミング、掛図の掲示タイミングを示しています。





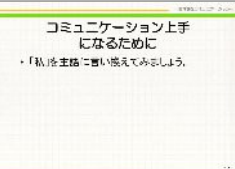

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
挨拶 1分 ()		<p>【先生からの挨拶、全体の授業の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 皆さんはパソコンや携帯電話からインターネットにアクセスして、メールをしたり、オンラインゲームを楽しんだり、情報を集めたりしていると思います。 ● インターネットには、いつも誰かとつながっているという安心感がありますね！ところがその一方で、ちょっとした行き違いから、相手とコミュニケーションがうまくとれなくなることもあるのです。 ● この時間は、そうした行き違いを防ぐのに有効な方法として、自分も他人も尊重するコミュニケーションについて学習しましょう。 ● 進め方としては、時間を決めて、一人ひとり考えたり、グループになって話し合ったりしていきます。自分で考えた文章を声に出すところまで行いたいと思います。 ● 積極的に参加して、皆さんの心に響く時間にしていきましょう。ここで、ワークシートを配ります。 	ワークシート 1 を配布する。
導入 1分 ()		<p>【映像の視聴準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これからインターネットの特性をふまえたコミュニケーションをテーマとした映像をみなさんに見てもらいます。 ● 映像を見る前に、主な登場人物を紹介しましょう。 ● 村井甲斐くんは、中学1年の剣道部員。練習に励み、1年生ながらレギュラーになりました。ブログを立ち上げ、剣道の練習や日々の思いを綴っています。ブログに書き込みがあると、携帯電話にメールが来るように設定しています。 ● 石川純くんは、同じく中学1年の剣道部員。甲斐くんの友だちです。 ● 榎本直樹くんは、他校の中学2年生。試合などを通じて、甲斐くんのことを知っていて、甲斐くんのブログも気にかけています。 	掛図 1、2、3、4 を掲示する。


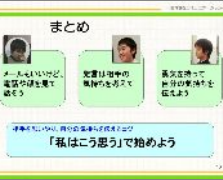

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
導入 続き		<ul style="list-style-type: none"> ● ワークシートを見てください。 ● 質問 1 「甲斐くんがブログに投稿したとき注意しなければならなかったことは何でしょうか。」 ● 質問 2 「直樹くんのコメントのいいところは何だと思えますか。なぜこのようなコメントを書けたと思えますか。」 	 <p>ワークシートの質問を読み上げ、確認する。</p>  <p>掛図の配置例、板書例は左記のとおり。</p>
導入 続き 6分 ()	ビデオクリップ	<p>【映像の視聴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● それでは、これから約6分間集中して、コミュニケーションをテーマにした映像を見てみましょう。 	 <p>DVDをセットし、頭出しできるように準備しておく。</p>
展開1 10分 ()	<p>スライド02</p>  <p>[Enter]で「甲斐くんの発言…」をスライドイン [Enter]で「直樹くんのコメント…」をスライドイン</p>	<p>【話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いかがでしたか。  <ul style="list-style-type: none"> ● まずは、このワークシートの表側にある2つの質問に答え、映像を見て感じた自分なりの考えを記入してみてください。 ● 時間は3分間、ではスタート。 ● 次にグループごとに、それぞれどんなことを書いたのか意見交換してみましょう。 ● 班長さんがリードして、全員が発言するよう進めて下さい。後ほどどんな意見が出ていたか聞きますので、そのつもりでグループの意見をまとめてみましょう。 ● 時間は約5分間です。ではスタート。 	 <p>事前にグループ分けしておき、机もグループごと島形式に配置する。班長を決めておく。</p> <p>グループを回り、話し合いが進んでいないグループがないかどうか確認する。</p>  <p>1グループあたりの人数×1分を目安とします。話し合いが早くまとまった場合は、早めに切り上げることもあります。</p>


時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
<p>展開1 続き 5分 ()</p>		<p>【話し合い—発表、まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● それではどんな意見が出ていたのかを聞いてみましょう。 1つ目の質問は「甲斐くんの発言のしかたで注意しなければならなかったことは何でしょう。」でした。これについてどんな意見が出ていましたか？ 	<p> 発表に対して、簡単なコメントを述べる。</p> <p>学習者の意見をメモまたは板書する。</p> <p>2～3グループに聞く。</p>
<p>展開1 続き 3分 ()</p>	<p>スライド03</p>  <p>[Enter]で「甲斐くんの発言…」をスライドイン</p> <p>スライド04</p>  <p>[Enter]で「直樹くんのコメント…」をスライドイン</p>	<p> 1つめの質問を通じて、みなさんに気づいて欲しかったことは、「相手の気持ちを考えて発言する」ことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターネットから発信された情報は、全世界にあつという間に広がり、不特定多数の人の目にさらされます。 ● 先ほどの映像で、甲斐くんは、悪気があったわけではなく、つい軽い気持ちで「結構、楽勝」と投稿しただけなのに、「生意気」と受け取られ、落ち込むようなコメントが数多く書き込まれました。相手に失礼なことは書き込まないようにしましょう。 ● 情報は、必ず正しく伝わるわけではありません。相手の受け取り方によって、よくも悪くもとられてしまうのです。 ● そう考えておくと、上手く伝わらなかった時、必要以上に落ち込んだり、相手を責めたりしなくて済みますね。 <p> では続いて2つ目の「直樹くんのコメントのいいところは何だと思いますか。」という質問に、どんな意見が出ていたかを聞いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2つめの質問を通じて、皆さんに感じてほしいことは「ブログへの誹謗中傷などに同調しないで、勇気を持って自分の気持ちを伝える」ことです。 ● いやなムードに同調せず、勇気を持って自分の気持ちを伝えることが大切です。良い考えを持っていても、思っているだけでは、何も変わりません。直樹くんの行動とコメントは、まさにそのよい例だったと思います。 	<p> 2～3グループに聞く。</p>

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
展開 2 4分 ()	<p>スライド 05</p>  <p>[Enter]で「攻撃的なタイプ」をスライドイン [Enter]で「我慢するタイプ」をスライドイン [Enter]で「自分の気持ちも…」をスライドイン</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● さてここからは、相手を思いやって、上手にコミュニケーションができるようになるためのトレーニングをしていきましょう。 ● 2枚目のプリントを配布します。 ● ここには、ABC、3つのタイプのメールのやりとりが出ています。 ● これは、コミュニケーションの3つのタイプを具体的に示したもので、場面は、友だちに貸した本が汚されてしまったという設定です。 ● 私がプリントのせりふを読んでみますので、みなさんは自分が当事者になったつもりで聞いてみて下さい。 (ワークシート 2 のせりふをタイプに分けて読み上げる。) まず A は、攻撃的なタイプ。 (ワークシート 2 の台詞 A を読む) ● 自分のことだけを考えて、相手を力で抑えつけようとしたり、非難したりしています。 売り言葉に買い言葉、人の本を汚しておきながら、素直に謝らない状況です。 ● では次の例はどうでしょうか？ (ワークシート 2 の台詞 B を読む) ● B は、我慢するタイプ。自分よりも相手のことを考え、自分のことを後回しにして言いたいことを言えずにいます。 ● 我慢ばかりしていると、ストレスがたまってしまいますね。 ● では C はどうでしょう？ (ワークシート 2 の台詞 C を読む) ● こちらは、自分の気持ちも相手の気持ちも尊重するタイプです。自分のことをまず考えますが、相手のこともよく考えます。相手の話をよく聴き、自分の考えをはっきりと言います。すると、お互い素直な気持ちで歩み寄ることが出来るのです。 ● こういうやりとりをすると、自然に「ごめんなさい」が言えますね。 ● 今日は皆さんに、この C タイプのコミュニケーションができるようになってほしいので、ここからは自分の気持ちを率直に伝える練習をしたいと思います。 	 <p>机といすを教室形式の配置に戻す。</p> <p>ワークシート 2 を配布する。</p>  <p>指導者が模範演技を行う。</p>


時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
<p>展開2 続き 14分 ()</p>	<p>スライド 06</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● それでは、例題をもとに練習してみましよう。 	
	<p>スライド 07</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● こちらのスクリーンとワークシート 2 の裏面を見て下さい。こんな場面のやり取りを設定してみました。 ● あなたは、友だちと遊びにでかけました。あまりに楽しくて少し帰りが遅くなりもう帰らなければと思っていたとき、家族からこんなメールが届きました。 ● 「今どこ？何やってんの！ 帰り時間、何回言われたらわかるの！ 早く帰って来なさい！」 ● 家族からこんなメールが届いたら、どんな気持ちになる？（学習者に尋ねる） ● そうですね。また叱られちゃうかな？と思ひ、家に帰る足どりも重くなってしまうですね。 	<p>私を主語にして話すコミュニケーション手法とあなたを主語にして話すコミュニケーション手法の見本について模擬演技を行う。</p>
	<p>スライド 08</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● では、こんな文章だったらどうでしょう？ ● 「今どこ？暗くなって心配しているから、連絡ちょうだい。みんな夕飯待ってるよ。気をつけて早く帰ってらっしゃいね。」 ● こんなメールだったらどうでしょうか。（学習者にどんな気持ちが出たと尋ねる。）先ほどのメールよりずっと気持ちがいいですね。 	 <p>学習者の意見を板書する。</p>
	<p>スライド 09</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族からの「今どこ？何やってんの！ 帰り時間、何回言われたらわかるの！ 早く帰って来なさい！」とメールは、（あなたは）何やってんの！（あなたは）何回言われたらわかるの！というように、主語があなたになっています。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 家族からの「今どこ？暗くなって心配しているから、連絡ちょうだい。みんな夕飯待ってるよ。気をつけて早く帰ってらっしゃいね。」というメールは、（私は）心配している、（家族のみんなは、私は）夕飯を待っているというように、主語が私になっています。 ● それでは、今の例文を参考にしながら、相手のことを思いやりつつ自分の考えを正しく伝えるメールの文章をみなさんも書いてみましょう。 	

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
<p>展開2 続き 5分 ()</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● ワークシート2の裏面の「例題」を見てください。 ● 今度は、こんな場面を設定してみました。 ● 「林間学校に行く先の環境について、調べ学習をしています。各自担当を決め、班ごとに壁新聞にまとめるのですが、あなたは体調を崩して、原稿の提出が1日遅れてしまいました。 	
	<p>スライド10</p> 	 <ul style="list-style-type: none"> ● そんな時、班長から「何やってんだよ！ 締切、昨日までだぞ！早くしろよ。」とのメールが届き、あなたはやる気をなくしてしまいました。 ● さて、こんな時、班長からのメールがどのような文面だったら、あなたはやる気になったでしょうか。」 ● ワークシート2の裏面の「練習」の携帯電話のイラストの空白部分に班長の立場になってメールの文面を書いてみてください。 <p>(記入時間：2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いかがですか、書けましたか？（何人かの学習者に尋ね、「あなた」が主語になっていた場合、「私」を主語に直すことを提案する）。 	
	<p>スライド11</p> 	 <ul style="list-style-type: none"> ● たとえばこんな文面だったら、あなたはやる気になれるのではありませんか？（模範解答を示す。） ● それでは、2人1組になって、お互いにメールの文章を口に出して言ってみましょう。 ● 自分で書けなかった人は、スライドに書かれている文面で練習してみてください。 ● いかがですか。相手の気持ちがストレートに伝わるとおもいませんか。そして、自分もやさしい言葉を使うことができますね。 	
<p>スライド12</p> 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 相手を思いやりつつ、自分の気持ちを素直に伝えるコツは、人と話をする時、あるいはメールをする時、主語を「私は」で始めることです。 		

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
<p>まとめ 3分 ()</p>		<p>【授業で学んだことを記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● それでは、ワークシート1の最後の質問3に本日の授業・講座で学んだことを記入してください。2分、時間をとります。 ● しっかりとポイントをつかめたようですね。 ● コミュニケーションする能力は、トレーニングにより身につけることができます。今日の授業・講座では、そのトレーニングのコツを学習することが出来ましたね。 	 <p>教室・会場を見回って、学習者が記入できているかどうかを確認する。</p>
<p>まとめ 続き 3分 ()</p>	<p>スライド13</p>  <p>[Enter]で「(直樹) 勇気を持って…」をスライドイン [Enter]で「(純) メールもいいけど…」をスライドイン [Enter]で「相手を思いやり…」をスライドイン</p>	<p>【振り返り】</p>  <p>では今日学習したことを4つのポイントで振り返ってみましょう。こちらをご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まずは、映像に出てきた甲斐くんの行動から学んだこととして、「相手の気持ちを考えて発言する」ということがありましたね。 ● 次に直樹くんの行動から学んだことは、「ブログへの誹謗中傷などに同調しないで、勇気を持って自分の気持ちを伝えよう」ということでした。 ● 直樹くんの勇気ある行動は、文字でのコミュニケーションで甲斐くんを励ましていましたね。インターネットの上手な使い方のよい例でした。 ● 3つ目に、今日は詳しくふれていませんが、もう一人の登場人物、純くんの行動を思い出してみてください。 ● 純くんは、対面や電話で甲斐くんのことを親身になって考え、励ましていました。ネットだけでなく、直接会って話したり電話したりするコミュニケーションも合わせて使っていきましょう。 ● 最後に、相手を思いやり、自分の気持ちを伝えるコツは、「私はこう思う～」で始めるということがわかりましたね。 ● これは、トレーニングを重ねることで身につく考え方のクセでもあります。 ● 今まで相手を思いやるコミュニケーションを上手にできなかった人も、直樹くんや純くんの例を参考にして、今日のこの授業をきっかけに行動を変えていきましょう。 	

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
まとめ 続き		<ul style="list-style-type: none"> ● そのためのワークシートを後ほど配布しますので、ぜひ活用してみてください。 ● 今日学んだことは、生活のあらゆる場面で役に立ちます。もちろん、これから高校、大学、社会人になっても生活の基本です。 ● しっかりとコミュニケーションのトレーニングをして、自分のものにして下さい。 	 <p>自分の言葉で、学習者にメッセージを伝えてください。</p>

オプション

時間	スライド、ビデオクリップの操作	サンプルシナリオ	ポイント 配布物・掲示物
5分		<p>【オプション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ここで皆さんにある本を朗読したいと思います。 	 <p>自他尊重のコミュニケーションに関する本など、クラスの状況に適した内容の本の朗読を聞く。</p>
10分		<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ネット・コミュニケーション（メール、ブログ）、対面のコミュニケーションにおいて、相手を尊重したり、思いやりたりする行動をとること」についてのアクションプランを記入してみましよう。 ● 授業を受けて、今までの行動を振り返ってみてください。気をつけてみたい点、これからはこうしたい点を記入してください。1ヵ月後に行動が変わったかどうか、チェックしてみてください。 ● このようにワークシートをつけることにより、行動が変わっていくことを期待しています。 	<p>ワークシート 3 (アクションプランワークシート)を配布する。</p>

2-8 補助教材

ビデオクリップシナリオ

【人物】

○一中生徒

村井甲斐（13）…一中・一年生ながら剣道部唯一のレギュラー
普通の子だが多少乗りすぎることも…

石川純（13）…一中・一年生・剣道部

毛利慶介（15）…一中・三年生・剣道部の主将

浦和美里（13）…一中・一年生（女子）・剣道部

一中剣道部員…数名（前記メンバーを含め10～12名くらい）

○四中生徒

榎本直樹（14）…四中・二年生・甲斐のライバル

四中剣道部員…四名

○先生

根本…一中の剣道部顧問

能登…四中指導者・剣道部顧問 引率者

剣道部のコーチ

○中学・剣道場内

剣道部員たちが練習している。

練習する剣道部員の声（オン・迫力）

声 「イヤァァァァァ！」

タイトル「侍ブロガー危機一髪」

○中学・剣道場の外

村井甲斐（13）と石川純（13）、面を外し、汗を拭っている。

甲斐「あっそうだ。おれ最近家でブログやってんだよね」

純「ブログ？」

甲斐「ああ。ブログ。携帯の」

純「へー。甲斐、ブログなんかやってんだ」

甲斐「先月からな」

純「なんてタイトル？」

甲斐「笑うなよ。カイの剣道一直線！」

インサート・携帯の画面。

純の声「カイの剣道一直線ねえ。誰か見てくれたりしてんの？」

甲斐「どうかな。コメントとかもほとんど無いし」

純「そっか〜」

そこへ主将の毛利慶介（15）が加わる。

慶介「甲斐！ 四中、来たぞ」

入口から四中の引率の指導者と制服姿の四中の生徒、六名がぞろぞろと入ってくる。

甲斐と目が合う榎本直樹（14）、口元に微かな笑みを湛えながらも鋭い視線。

直樹「春の個人戦以来だな」

甲斐「はい」

直樹「今日は絶対負けないからな」

甲斐「…（口元をぐっと締める）」

甲斐と直樹の間に火花。

○インサート・中学校・校庭（時間経過のため）

誰もいない校庭。

コーチの声「（先行して）勝負あり！」

○中学校の剣道場

慶介「（戻ってきて）…すまん。これで、二い二いだ（※二対二の意味）。頼むぞ」

緊張した顔で立っている甲斐。

甲斐「はい！（と立ち上がる）」

× × ×

向かい合う甲斐と直樹。

一礼する甲斐と直樹。

コーチ「始め！」

※甲斐の目線（面越し）。

りゃあ！と間合いを測っている直樹。

直樹が打ってくるが甲斐は見事にかわす。

甲斐・心の声「さすが榎本さん。相変わらずするどいな」

更に直樹が攻め込んでくるが決まらない。次の瞬間――

甲斐・心の声「今だ！」

甲斐が見事な面をする。（決まる瞬間までスローモーション）

甲斐「ややああああーッ！」

コーチ「面あり！（と旗を上げる）」

喜ぶ純ら一年生部員たち。

○剣道場の外

着替えを終えて帰る純と美里（13）が甲斐を囲んでいる。

純「甲斐、すげえなあ。」

美里「ねえ。これで榎本さんと対戦成績五分でしょ？」

純「次で勝ち越しだな？」

甲斐「(笑) そりゃ、どうかなあ」

美里「もっと強気でいきなよ。うちの一年では唯一のレギュラーなんだからさ」

純「そうそう」

甲斐のそばに、帰る直樹が近寄ってきた。

直樹「甲斐」

甲斐「はい…」

直樹「腕上げたな」

手を差し出す直樹。

直樹「次は県大会で！」

甲斐「よろしくお願いします（握手）」

直樹は去っていく。見送る甲斐。

直樹「あっそうそう、甲斐のブログ見てるぞ」

甲斐「ありがとうございます！」

○甲斐の部屋（夜）

風呂上がりらしくバスタオルでごしごし頭を拭きながら、

甲斐「♪さ〜て、ブログ〜ブログ〜ブログの更新〜、と」

ベッドの端にすわり、携帯を操作し始める甲斐。

しばらく鼻歌交じりに操作を続ける甲斐。（引きの画で）

○通学路（朝）

「おはよう」と通学している生徒たち。甲斐も学校へ向かっている。

純の声「おい！ 甲斐」

甲斐「よッ」

純 「見たぞ」
 甲斐「え？ 何を？ まさかUFOとか？」
 純 「そうそう。昨日帰りがけにメキシコの上空でって、なわけないだろ。
 ブログだよ、ブログ！ お前の！」
 甲斐「ああ。ブログか。(おどけて) で、どうでした？」
 純 「結構強気で言ってたじゃん？」
 甲斐「え？ 何を？」
 純 「"結構、楽勝" とかさ」
 ※インサート・ブログの「結構、楽勝！」の文字。
 甲斐「楽勝？ あれか。まずかったかな？」
 純 「何心配してんの？ まさかブログ炎上とか？」
 甲斐「なるかな？」
 純 「まさか。大丈夫だよ。甲斐君は案外心配性だねえ～」
 と、純、甲斐にじゃれつく。
 甲斐「大丈夫だよな。そうそう、学校行こうぜ」
 過ぎていく甲斐たち。

○中学校・校庭（放課後）

○甲斐の家・甲斐の部屋（夕方）

ベッドの端にすわり、携帯をいじる甲斐。
 甲斐「さ〜と、今日は…お！ コメント来てんじゃん！ 五十二件って？ すげ！」
 画面を読む甲斐、ニヤニヤ顔が徐々に曇っていく。
 甲斐の、【携帯を握った手が震える】～【震える背中】～【全身（足元からあおり）】
 甲斐「な…な、…なんだよー！ これーッ！」※with echo

書き込み（声をそれぞれ変えていく）
 「試合見てたけど”楽勝”じゃないっしょ」
 「楽勝とか言ってナマイキ」
 「相手が弱かったんじゃない」

○甲斐の家・外観（夕）

純の声「(電話越し) 炎上？」

○同・甲斐の部屋（夕）

ベッドの上に座り、携帯で喋っている甲斐。相手は純だ。
 甲斐「…ああ。そうなんだよ！ 書き込んでくるんだよ、コメントの所に。
 誰が…って…知らないよ！ どっかのヒマ人だろ！ もう百件超えてるんだ。今もジャン
 ジャン来てんの。
 とにかくさ、明日、朝練、休むからさ」
 純の声「なんで？」
 甲斐「なんかやる気がしないんだよ」

純の声「県大会予選来週だぞ。大丈夫か？」

甲斐「予選？ ああ…でもとにかく明日は頼むよ」

純の声「分かった。だけどあんまり考え込むなよ」

甲斐「ああ。ありがとう。じゃあな（と電話を切る）」

畳んだ携帯を机の上に置く。

甲斐「…はあ」

甲斐、ため息をついて、手の中の携帯を眺める。

甲斐心の声「…オレって実は嫌われてんのかなあ」

その瞬間携帯がメールの到着を知らせる。

ハッとする甲斐。操作する。

甲斐の脳裏に渦巻く書き込みの文字と声。

「カイ サイアク」

「弱いってなんだよ！」

「たかが剣道だろ」

「たかがって何だよ」

「試合見てたけど、楽勝じゃないっしょ」

「楽勝とか言ってナマイキ」

甲斐、再び携帯を畳み、机の上に放る。

甲斐「…はあ。もうやだ」

甲斐「…思い切ってやめようかな」

少しの間あって――

携帯がメールの到着を知らせる。

甲斐「またかよ！ もういい加減にしてくれよ！」

甲斐、荒々しく携帯を手に取り、操作する。読む…

甲斐の表情「え？」の顔に変わり固まる。（読んでいる）

直樹の声「…カイ。何か書き込みでずいぶんだいぶ叩かれているみたいだけど、気にすることないぜ。言いたいヤツには言わせとけばいいさ。おれはお前のブログを見て、もっと練習やってやる！って気持ちになったよ。

確かに昨日の面はすごかったけど、その前の突きはケッコー甘かったぞ。

次は“楽勝”とはいかないからな」

直樹が書き込んだコメントの画面が入る。

直樹が自分の部屋からコメントを書き込んでいるシーンが入る。

直樹が甲斐の練習しているところをじっと見ているシーンが入る。

甲斐「(呟く) …榎本さん」

甲斐の脳裏に直樹の顔が浮かぶ。（登場シーンの、鋭い視線の直樹）

甲斐「(ほんの小さく、息をつくように笑う) …フ」

甲斐、携帯を閉じて、机の上に置く。

目を上げる。視線の先に竹刀が見える。

ワークシート1

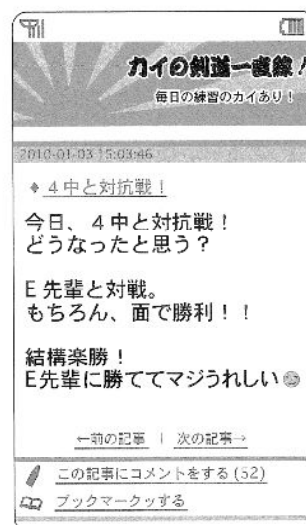
ビデオクリップをもとに授業の感想までを書く基本のワークシート

ワークシート1

テーマ：「主体的なコミュニケーション（自他尊重のコミュニケーション）」

年 組 番 名前

- 1 甲斐くんがブログに投稿したとき注意しなければならなかったことは何でしょうか。



- 2 直樹くんのコメントのいいところは何かと思いますか？なぜこのようなコメントを書けたと思いますか？

……カイ。何か書き込みで
だいが叩かれているみたい
だけど気にすることないぜ。
言いたいヤツには言わせて
おけばいいさ。
おれはお前のブログを見て
もっと練習やってやる！
って気持ちになったよ。
確かに昨日の面はすごかった
けど、その前の
突きは、ケッコー甘かったぞ。
次は“楽勝”とはいかない
からな。

- 3 本日の授業で学んだことを記入してください。

--- END ---

ワークシート2 (表)
コミュニケーションの3つのタイプを紹介するワークシート

ワークシート 2


友だちに貸した本が汚れてしまった場合のメールのやりとり

A 攻撃的なタイプ


B 受動的、がまんするタイプ

C 相手を思いやって、自分も言いたいことを言うタイプ


「本が汚れている。どうしてくれるの!」と怒っている様子




言いたいことを言いたいのになんか飲み込んでしまっている様子




言いたいことを言えている様子




「本が汚れてくれてありがとう。ちよつとちよつと紅茶をこぼしちゃったんだけど・・・。」




「本貸してくれてありがとう。ちよつと紅茶をこぼしちゃったんだけど・・・。」




「本貸してくれてありがとう。ちよつと紅茶をこぼしちゃったんだけど・・・。」




「あー、どうしてくれるんだよ! おまえはいつもそんなだから。いつもだらしがない! 弁償しろよ!」




「わかった。いいよ。」




「えー、この本を大事にしていたんだ。残念だな。」




「そんなに怒らなくてもいいだろ。ちよつと紅茶をこぼしただけだろ。そっちこそ、おまえにこの間CD 貸したら、音が飛ぶんだよ。どうしてくれるんだよ!」




「納得」



「けんかに参戦!」



「ごめん。これから気をつけるよ。」

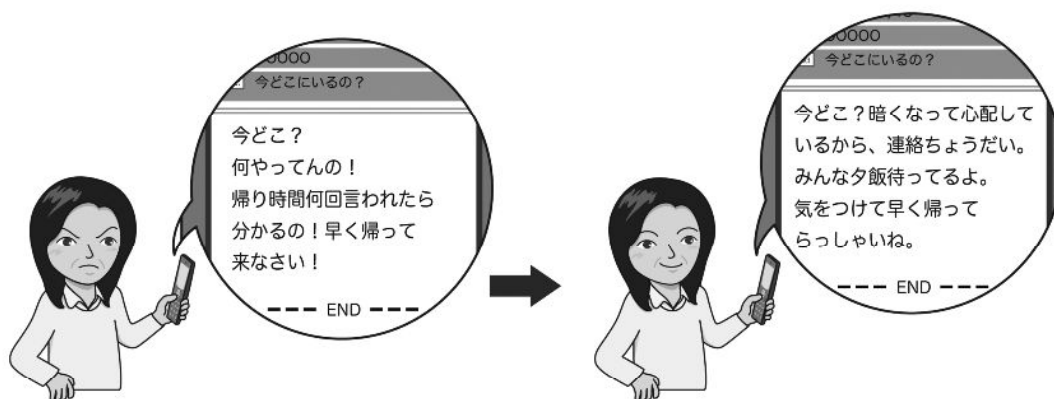


ワークシート2 (裏)

「あなたを主語にして話すコミュニケーション手法」から「私を主語にして話すコミュニケーション手法」に言い換える例題と練習

例題

あなたは、友だちと遊びにでかけました。あまりに楽しくて少し帰りが遅くなりもう帰らなければと
思っていたとき、家族からこんなメールが届きました。

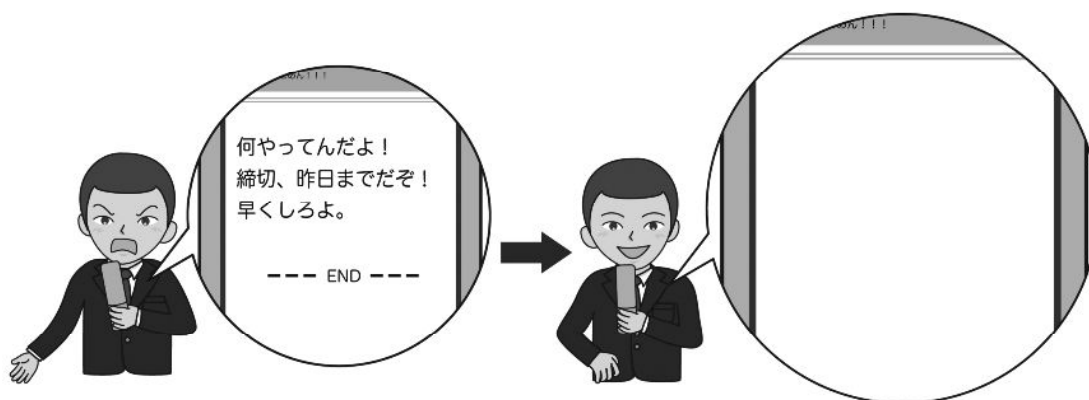


主語があなたになっている。
相手を非難している。

主語が私になっている。
相手を思いやる気持ちが伝わる。

練習

林間学校に行く先の環境について、調べ学習をしています。各自担当を決め、班ごとに壁新聞に
まとめるのですが、あなたは体調を崩していて、原稿の提出が1日遅れてしまいました。
そんな時、友だちから「何やってんだよ！ 締切、昨日までだぞ！ 早くしろよ。」とのメールが届き、
あなたはやる気をなくしてしまいました。
こんな時、友だちからのメールがどのような文面だったら、あなたはやる気になるでしょうか。
右下のイラストの携帯電話の画面に、友だちの言葉で書いてください。



ワークシート3
アクションプランワークシート

<ワークシート3> アクションプラン（振り返り用シート）

今回の授業はいかがでしたか。皆さんがそれぞれ授業で学んだこと、考えたことを参考に、日常生活に活かしていただきたいと思っています。

- (1) 授業を受けて自分の行動やふるまいを見直し、一番変えたいと思うものについて記入してください。
- (2) 1ヶ月後にまた見直してみよう。

年 組 番 名前: _____ 記入日 (1): _____

_____ 記入日 (2): _____

(1) 授業後に記入してください	(2) 1ヶ月後に見直しましょう	
今の自分の行動やふるまい	自分の行動やふるまいが変わったと思いますか	この結果を見て今後について聞かせてください
	適切だと思う項目に○をつけてください。 <small>まったく 思う 変わらない 思う どころか 思う 知らない 思う 思う</small>	また、そう思う理由はなぜでしょうか。

掛図



1-01

村井甲斐 剣道部員、1年生ながらレギュラー

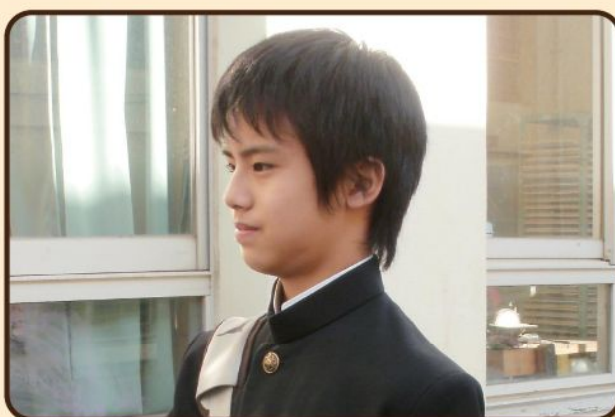
掛図 1-01
ビデオクリップの登場人物
(村井甲斐くん)



1-02

石川 純 甲斐の友だち、同じく剣道部員

掛図 1-02
ビデオクリップの登場人物
(石川純くん)



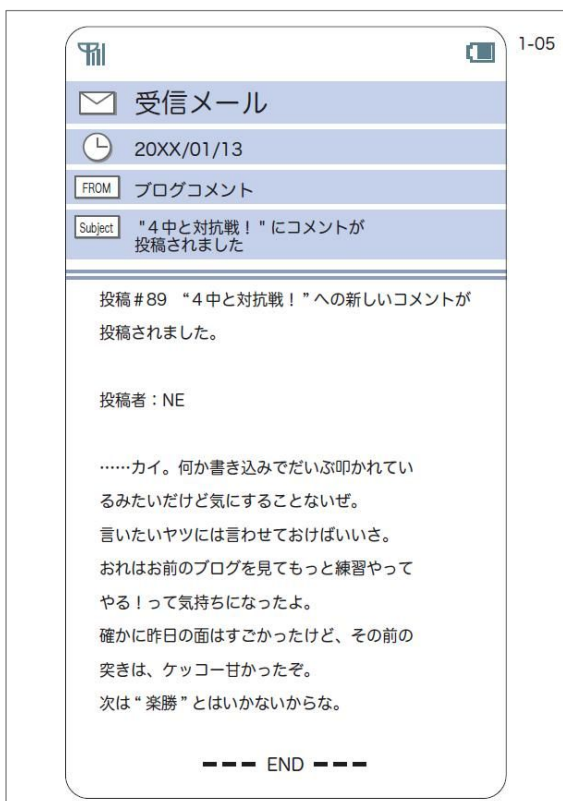
1-03

榎本直樹 4中剣道部のエース、甲斐のライバル、中学2年生

掛図 1-03
ビデオクリップの登場人物
(榎本直樹くん)



掛図 1-04
「結構楽勝」と投稿したブログの画面



掛図 1-05
直樹くんの書込みの画面

3. 参考資料

3-1 ブログ炎上の場合の対応

【ブログの炎上に気がいたら】

指導者や保護者は、生徒や子どものブログが炎上していることに気がいたら、次のように指導しましょう。

- ・ ブログへの誹謗中傷などの書込みを削除しましょう。
- ・ コメント欄を閉じましょう。
- ・ 生徒や子どもの不用意な発言で炎上した場合は、生徒や子どもが真意をブログに発表し、謝るべき点があれば、正直に謝るように指導しましょう。
- ・ 生徒や子どものサイトに訪れた人が、訪れた時間、どのサイトから訪れたかなど、アクセス解析を行います。

【子どもが悩んでいるようなら】

保護者は子どもが心理的に悩んでいる場合は、悩みのレベルに応じてスクールカウンセラー、カウンセラー、医師に相談しましょう。

指導者は、生徒が心理的に悩んでいることに気づいたら、保護者と相談しましょう。

【ブログの炎上を予防するには】

- ・ トラックバックを受け付けないように指導しましょう。

(注) トラックバックとは、他の人のブログを読んで、関連する記事を書いたことを相手に知らせる機能のこと。

3-2 自他を尊重するコミュニケーション手法（アサーション）

アサーションとは、「自分も相手も大切にしたい自己表現」「自分の考え、欲求、意見、気持ちなどを率直に、正直に、その場の状況に合った適切な方法で伝えようとする自己表現」であり、「自分と相手の相互を尊重しようという精神で行うコミュニケーション」です。

自分の考えや感情を率直にはっきりと主張すると、相手のことも同じように大切にできるようになります。自分も相手も大切に思っているの、相手との違いにも歩み寄ることができます。これが、「主体的なコミュニケーション」の第一歩です。

また、上手な「No」の言い方を習得すると、ストレスをためずにすみ、メンタルヘルスにも役立つといわれています。

「アサーション」についての参考資料をお勧め順に記します。授業の前にお読みください。

書名	発行年	著者名	出版社
「教師のためのアサーション」	2002	園田雅代・中釜洋子・ 沢崎俊之編著	金子書房
「アサーション・トレーニング—さわやかな <自己表現>のために」	1993	平木典子著	日本・精神技術研究所
「子どものためのアサーション(自己表現) グループワーク」	2000	園田雅代・中釜洋子著	日本・精神技術研究所
「自分を好きになる本」	1991	P・パルマー著 eqPress 訳	径書房
「自分の気持ちをきちんと<伝える>技術」	2007	平木典子著	PHP 研究所
「アサーション・トレーニング—自分も相手も大切に する自己表現—」	2008	平木典子著	至文堂
『アサーション—自分の気持ちを率直に伝える』 （「児童心理」2003年10月号）	2003	黒木幸敏著	金子書房
「アサーティブ・コミュニケーション」	2007	岩船展子・渋谷武子著	PHP 研究所
「アサーティブネスのすすめ」	1991	ディクソン・A 著 山本 光子訳	柘植書房
「第4の生き方—「自分」を生かすアサーティブ ネス」	1998	ディクソン・A 著 竹内昌子・小野あかね訳	つげ書房新社
「自己カウンセリングとアサーションの すすめ」	2000	平木典子著	金子書房
「言いたいことがきちんと伝わる レッスン」	2008	平木典子著	大和出版
「気持ちをうまく伝える技術」	2009	大部美知子	かんき出版
「いいことがいっぱい起きる！『ほめ言葉』 ブック」	2008	平木典子他著	大和出版
「アサーティブネスのすすめ」	1991	ディクソン・A 著 山本光子訳	柘植書房

4. 指導マニュアル(オプション)

4-1 指導の展開例 (1 コマ版)

<展開例 1>

本展開例は、比較的情報発信を活発に行っている傾向のある学習者に対し、あらかじめ情報発信の種類と特性を確認することにより、その後に見せるビデオクリップでの出来事を自分たちの問題として考えさせるきっかけとなるように構成したものです。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
導入	3分	○本時の目標を確認する 「情報発信について考えましょう」	「個人の情報発信にはどんなものがありますか?」と質問し、挙手させる。 ブログやプロフや電子メールなどが出されると予想される。
展開1	10分	○導入で挙げた項目を整理する ・Webは「誰」が「どんな内容」を発信していますか? ・ブログは「誰」が「どんな内容」を発信していますか? ・プロフは「誰」が「どんな内容」を発信していますか? ・どれが一番プライベートで、どれが公的ですか。 ○「このような事例があったら?」と紹介する	個々に質問して意見が出ないようにすれば、教員が整理した物を板書する。 【板書例】 Web 自信を持ってだせるもの 公的 ブログ 日々考えたこと プロフ 個人情報 最もプライベート
展開2	5分	ビデオクリップを見る	
展開3	17分	○ビデオクリップについて話し合う ・甲斐の何が問題でしたか。 ・直樹が書いたことについてあなたはどのように思いますか。 ・純の対面での励ましのコミュニケーションをどう思いますか。 ・あなたならどのような行動を取ったでしょうか。	・ネットの先の相手の存在を意識させる。 ・不特定多数が見ている自覚を持つ。 ・ネットもプラス方向に使えること。 ・直接のコミュニケーションの力を確認。 ・直接・間接、電話、電子メール、ブログ。
展開4	10分	○グループもしくは個人の考えを発表させる ・情報発信とコミュニケーションの部分は分ける。 ・単純に「だからやめよう」という意見は避ける。	・時間が無い場合はワークシート提出。 ・話し合いを元に、ネットの特性についてもまとめる。
まとめ	5分	○本時のまとめ ・ネット上のコミュニケーションの難しさや大切さ。 ・自分が考える以上の読者がいることと発信の責任。 ・ネット上のコミュニケーションもよい方向に使える。	実は情報発信は一方的なものではなく、双方向に作用し合うことがあり、時にはトラブルになったりすることを意識させる。

<展開例 2>

本展開例は、情報発信に関心が薄い傾向にある学習者に対し、ビデオクリップの結論が出る前で止めることで結末を考えさせ、現実のコミュニケーションとインターネットの特性を比較させる議論を呼び起こすために構成したものです。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
導入	3分	○本時の目標を確認する 「情報発信について考えましょう」	「個人の情報発信にはどんなものがありますか？」と質問し、挙手させる。ブログやプロフや電子メールなどが出されると予想される。
展開1	5分	ビデオクリップを見る (直樹からのコメント通知の電話が鳴ったところで止める)	
展開2	10分	○ビデオクリップの内容を整理する ・「誰」が「何」を「どうした」のか。 ・主要登場人物の3人とその関係。 ・どんなことが発生したのか。	ワークシート 1 にビデオクリップを見ながらまとめる。
展開3	5分	○個人の意見を聞く ・事件の原因は何だったのか。 ・どうすれば事件を防ぐことができたのか。	鑑賞後に各自の意見を書く。
展開4	15分	○ビデオクリップについて話し合う (グループ) ・直樹に対してどのような行動をとればよいか。 ・炎上したブログをどうすればよいか。	・「ブログを閉鎖する」という対処以外を議論させること。 ・時間が無い場合はワークシート提出。
展開5	6分	○グループの考えを発表させる ・情報発信とコミュニケーションの部分は分ける。 ・単純に「だからやめよう」という意見は避ける。	・ネットの特性。 ・前向きな議論をうながす。
展開6	1分	ビデオクリップの残りを見る	
まとめ	5分	○本時のまとめ ・ネット上のコミュニケーションの難しさと大切さ。 ・自分が考える以上の読者がいることと発信の責任。 ・ネット上のコミュニケーションもよい方向に使える。	ネットはトラブルが発生するマイナス面と、コミュニケーションをとるプラス面もあることを確認。

＜展開例 3＞

本展開例は、ビデオクリップをまとめとして授業の最後に視聴させます。まず、あらすじを伝え、登場人物の誰かになり自分のこととしてブログ炎上を擬似体験させます。そして、収束方法を考えさせます。その後で改めてビデオを視聴すると、意外な収束方法と相まって、学習者に道徳的な効果が期待できます。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
導入	3分	1. 本時の目標を確認する (情報発信にはリアルな生活と、インターネットや携帯電話(ブログ、プロフ、掲示板、メール等)を使用したもの等がある。)	「お互いの存在を認め合い、尊重し合う情報発信について考えましょう」
展開1	20分	2. ワークシートAを配る。 物語のあらすじを知る。 3. 登場人物のどれかになって、ワークシートにセリフを記入。 班の中で発表する。 4. 各班の意見を知る。	「甲斐は中一。剣道の試合で勝って嬉しい。榎本はライバル校のキャプテンで中二。甲斐に試合で負けてしまう。甲斐は勝ったことが嬉しくて、自分の開設している携帯電話のブログに「楽勝だった」と書いてしまう。さて、あなたがブログを見た人＝『親友純くん』『年上の榎本』『通りすがりのあおる人』のどれかだったとして、それを見てどう思うか、そしてそのブログに何を書き込むか、考えてセリフでワークシートに記入しよう」 各班の班長に司会を依頼し、意見を集約させ発表させる。 板書し、擬似炎上状態を知る。
展開2	7分	5. ワークシートBを配る。 考えて記入。	「さて、そういう状態＝ブログ炎上を収束させるためには、あなたが『甲斐本人』『親友純君』『年上の榎本』『通りすがりの人』のどれかだったら、どう行動するか、何を書き込むか、考えてセリフでワークシートに記入しよう。」
展開3	10分	5. ビデオクリップを見る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ビデオクリップを見る</div>	「では、ビデオクリップを見てみましょう」
まとめ	5分	6. 感想を書く。	

＜展開例 3＞

ワークシート A

主体的なコミュニケーションについて

(登場人物)

主人公 村井甲斐 (第一中学校 剣道部 1年生)
 ライバル校の先輩 榎本直樹 (第四中学校 剣道部 2年生)
 主人公の友達 純 (第一中学校 剣道部 1年生)
 主人公の友達 女の子 (第一中学校 剣道部 1年生)
 その他 一中剣道部の2年生たち、四中剣道部員たち、四中剣道部の2年生たち、
 噂を聞いた人達 (同じクラス、同じ学校、隣の学校、塾で一緒、
 通りすがりの人など)

(物語あらすじ)

村井甲斐(むらい かい)は第一中学校1年生。1年生ながらそこそこ剣道はうまい。県大会(都大会)に向けた団体戦でライバル校の第四中学校と対戦することになった。当日の試合、どちらも力が均衡していて、2対2となっていたが、勝敗がかかったこの大事な局面に1年生ながら村井甲斐は出ることになった。相手は、一つ年上の第四中学校2年生の榎本直樹(えのもと なおき)である。

勝負は…なんと1年生の甲斐が勝った!

甲斐は嬉しくて嬉しくて、周囲の人や、自分の携帯ブログに「ここだけの話、結構楽勝だったし。」などと言ったり、書き込んでしまったりする。

さて、「ないしょね」と話をして、内緒になることはほとんど無いのと同じで、いつしか、周囲の誰もが甲斐が「楽勝楽勝!」と言っているということは伝わり知られるようになった。もちろん、剣道部の2年生の代にも、そして、塾などを通じて四中の剣道部や榎本本人にも…。

I 甲斐の「結構楽勝」という言葉を聞いたり見たりして、あなたが上の登場人物の誰かだったら、どう思いますか。

() だったら

II その人が I で思ったことを甲斐のブログに書き込むとするとなんと書きますか。セリフで書きなさい。

III 通りすがりのその他の人(面白がってあおる人)なら何と書くと書きますか。セリフで書きなさい。

氏名 ()

<展開例 3>

ワークシート B

さて、「結構楽勝」の数日後、甲斐の周りは大変なことになっています。「全然あんなの楽勝じゃないって見ていた人が言ってたよ」と親切そうに教えてくれる人がいたり、「調子ぶっこくな」とすごまれたり、等々大変な騒ぎです。見える敵見えない敵に囲まれているようで、甲斐は身の置き所がありません。

- IV II で書いた言葉を「私は～」という文になおして、もう一度書いてみよう。その時、理由等を付け加えらるとなお良いです。

V さて、大変な騒ぎの最中に話を戻します。こんなときあなたが（本人、純君や女の子、榎本さん、その他の人）だったら、ブログにどんな書き込みをして騒ぎを静めるか、またはブログに書き込む以外にどんな行動をとって騒ぎを静めるか、考えてそれをその人の言葉で（セリフで）書きなさい。

（ ） だったら

- VI 甲斐に対してはどんな言葉をかけてあげるとよいか、考えてそれをその人の言葉で書きなさい。

（ ） だったら

- VII 映像を見て裏に感想を書きなさい。

氏名（ ）

4-2 指導の展開例（短時間版）

短時間版は、中学校・高校において1コマの授業時間をとれない場合や短時間の生活指導などの場面で使用するものです。また、保護者が家庭で指導する際にも活用できます。

<展開例 1>

ビデオクリップを視聴した後、指導者・保護者はビデオクリップから学んでほしいことを伝えます。次に、コミュニケーションの3つのタイプを紹介し、自他を尊重するコミュニケーション手法について考えるきっかけを作ります。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
挨拶	2分	○本時の目標を確認する 自分も他人も尊重するコミュニケーションについて学ぼう	
導入	7分	○ビデオクリップを視聴する 【テーマ】 自分が存在するコミュニティや集団の中での存在をお互いに認め合うことの大切さ	視聴後、ブログに書き込みがあるとケータイにメールが来る設定にしていることを伝える。
展開 1	6分	【映像のまとめ】 ビデオクリップを見て学んでほしいことを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の掛図を黒板に貼る。 ワークシート 1 を配布する。 文字だけのコミュニケーションは、誤解されやすいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 展開 1 のまとめ <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを考えて発言する。 ブログへの誹謗中傷などに同調しないで、勇気を持って自分の気持ちを伝える。 </div>
展開 2	5分	○自他を尊重するコミュニケーション手法を紹介する コミュニケーションの 3 つのタイプ（攻撃的、がまん、自他を尊重）の特徴を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 2 を配布する。 表面の 3 つのタイプをイメージしやすいように、指導者がメール内容を読む。 A. 攻撃的なタイプは、攻撃的に読む。 B. がまんするタイプは、言いたいことが言えない雰囲気を読む。 C. 自分の気持ちも相手の気持ちも尊重するタイプは、残念な様子が伝わるように、攻撃的にはならないように読む。 自分はどのタイプなのかイメージさせるとよい。
まとめ	2分	相手も自分も尊重するコミュニケーションを心がけることを伝える。	

<展開例 2>

本展開例は、ビデオクリップそのものは使わず、同時に提供される掛図のみを利用してストーリーを説明することで、非常に短い時間ながら目標を達成しようとするために構成したものです。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
導入	1分	○本時の目標を確認する 「情報発信について考えましょう」	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人の情報発信手段であるブログについて考えます」と説明する。 ・あとで個別に意見を聞くことを宣言する。
展開1	1分	○登場人物を知る <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">掛図 1-3：登場人物紹介</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・掛図を使って登場人物を紹介し、甲斐君がブログを書いていることを伝える。
展開2	2分	○これからどんなことが起こるか ・ブログにはどんな書き込みがあるか <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">掛図 4：甲斐君のブログの画面</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「何も起こらない」という意見も含めて黒板に書き出す。
展開3	5分	○甲斐くんは何をしてあげられるか (アドバイス) <ul style="list-style-type: none"> ・会って直接。 ・電話で。 ・メールで。 ・ブログで。 ・その他。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ささいな言葉“楽勝”に反応した第三者によって炎上してしまいました。」 ・自分が甲斐くんの友人だったとして考えるように指示する。 ・何人かに挙手させて意見を述べさせる。
まとめ	1分	○本時のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ネット上のコミュニケーションの難しさと大切さ ・自分が考える以上の読者がいることと発信の責任 ・ネット上のコミュニケーションもよい方向に使える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットはトラブルが発生するマイナス面とコミュニケーションをとるプラス面もあることを確認。 ・自分ができることは何かを確認。

4-3 指導の展開例 (2 コマ版)

授業・講習時間を2コマ確保できるのであれば、グループの話し合いやコミュニケーションの練習に時間をかけることができるので、さらに学習成果が期待できます。よりコミュニケーション力の向上をめざした授業・講習を展開する場合は、2コマ版を推奨します。

【1コマ目】

1コマ目では、ビデオクリップを題材にして、グループの話し合いを中心に進行します。考えをまとめ、ワークシートに記入する時間を十分にとります。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
挨拶	2分	○本時の目標を確認する 自分も他人も尊重するコミュニケーションについて学ぼう (ビデオクリップから自分のコミュニケーション行動を考えよう)	
導入	7分	○ビデオクリップを視聴する 【テーマ】 自分が存在するコミュニティや集団の中での存在をお互いに認め合うことの大切さ	視聴後、ブログに書き込みがあるとケータイにメールが来る設定にしていることを伝える。
展開1	20分	○ビデオクリップについて話し合う ①ワークシートに記入する。 ②グループに分かれ、下記について話し合う。 ・ 甲斐くんの発言のしかたで注意しなければならなかったことは何か。 ・ 直樹くんが書いたコメントのいいところは何か。 ③グループごとに発表する。 ④まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1班 5～6人。班長を事前に決めておく。 ・ 登場人物の掛図を黒板に貼る。 ・ ワークシート1を配布する。 ・ 文字だけのコミュニケーションは、誤解されやすいことを伝える。 展開1のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちを考えて発信する。 ・ ブログへの誹謗中傷などに同調しないで、勇気を持って自分の気持ちを伝える。
展開2	17分	○相手の気持ちを考えて発信するには、どのような文章を書いたらいいかを考える ①ワークシートに記入する。 甲斐くんの立場だったら、練習試合に勝ってうれしい気持ちをどのように発信するか。 ②2人1組になって、自分が書いた文章を読んでみる。 ③どのような気持ちか、気持ちが伝わっているか、意見を述べ合う。	展開2のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちを考えて、ブログなどから発信する。メール(1対1のコミュニケーション)を送るときも、相手の気持ちを考えて、文章を作成する。
まとめ	4分	○本時のまとめ ①授業で学んだことをワークシートに記入する。 ②まとめを聞く。	2コマ目で学ぶ内容を予告し、2コマ目の学習目標を提示する。

【2コマ目】

2コマ目では、コミュニケーションの3つのタイプ（攻撃的、がまん、自他を尊重）の特徴を理解した上で、3つのタイプのメールの文面を2人1組になって読み合う練習を行います。さらに、私を主語にしたコミュニケーション手法について、例題をもとに練習します。ワークシートに例題の答えを記入した上で、2人1組になって読み合います。練習を繰り返すことで、コミュニケーション・スキルを磨きます。

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
挨拶	3分	○1コマ目の学習内容を振り返る ○本時の目標を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分も他人も尊重するコミュニケーションについて学ぼう （コミュニケーションのタイプを明確にし、 自他を尊重するコミュニケーション手法を学ぼう） </div>	
展開1	10分	○自他を尊重するコミュニケーション手法の基礎を学ぶ ①なぜコミュニケーションを学ぶことが大切なのかを学ぶ。 ②コミュニケーションの3つのタイプ（攻撃的、がまん、自他を尊重）の特徴を知る。 ③3つのタイプのうち、自他を尊重するタイプのメールの文面を2人1組になって読み合う。 ④役割を交代する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2を配布する。 ・表面の3つのタイプをイメージしやすいように、指導者がメール内容を読む。 A.攻撃的なタイプは、攻撃的に読む。 B.がまんするタイプは、言いたいことが言えない雰囲気を読む。 C.自分の気持ちも相手の気持ちも尊重するタイプは、残念な様子が伝わるように、攻撃的にはならないように読む。 ・自分はどのタイプなのかイメージさせるとよい。
展開2	20分	○自他を尊重するコミュニケーション手法を練習する ①スライド（ワークシート）の例題を見て、攻撃的な言い方から自他を尊重する言い方に言い換えることを知る。 ②ワークシート2の「練習」を書く。 ③書いたものを発表する。 ④2人1組になり、コメントを読む。 ⑤感想を述べ合う。 ⑥他の事例で練習する。 ⑦まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を尊重した話し方を実現するために、私を主語にして話すコミュニケーション手法で気持ちを伝えることを学ぶ。 ・私を主語にして話すコミュニケーション手法になっているかを確認する。 ・スライドの解答例を示してもよい。 ・役割を交代させる。 ・グループ内の発表でもよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 展開2のまとめ 私を主語にして話す、相手も尊重し、自分の気持ちも正確に伝えることができる。私を主語にして話すことは、思いやりの第一歩。 </div>

流れ	時間	学習活動	指導上の留意点
まとめ	15分	<p>○本の朗読を聞く 自己尊重のコミュニケーションに関する本など、クラスの状況に適した内容の本の朗読を聞く。</p> <p>○本時のまとめ ①授業・講座で学んだことをワークシートに記入する。 ②まとめを聞く。</p> <p>○アクションプランを記入する</p>	<div data-bbox="932 421 1401 685" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のまとめ 相手も自分も尊重するコミュニケーションを心がける。今まで相手を思いやるコミュニケーションを上手にできなかった人も、今日から行動を変えていってほしい。</p> </div> <p>自分の問題として考えてみたときに、「ネット・コミュニケーション、対面のコミュニケーションにおいて、相手を尊重したり、思いやったりする行動をとること」について宣言させることで、行動の変容を促す。</p>